

## 事例11 りんご園の放棄地を活用した景観形成

黒石市 牡丹平開拓パイロット

協定面積 畑30ha 協定参加者 75人

- 牡丹平集落のりんご園は、八甲田山系に連なる急傾斜丘陵地にあり、昭和50年代に農地開発されましたが、生産者の高齢化やりんご園地の平場への移行により放棄地が多くなっています。放棄されたりんご園の伐採は行っておらず病虫害の発生源となっていました。
- この制度への取組みを契機に集落で話し合いを重ね、交付金を活用し計画的に放棄地の伐採・整地を行い、景観作物としてナタネを作付けすることにしました。
- ナタネは、は種後の管理が容易なことから、協定外の放棄地の解消も視野に入れ、平成15年には新たに2 ha（交付対象に加える予定）を加えて5 haで栽培する予定です。

春には、青空の下でりんごやナタネの花が咲き、ミツバチが飛び交う風景を地域内外の住民とともに楽しめるように頑張っています。



伐採した放棄りんご園